

【インタビュー】

育つ環境に男女差なし

榎本克哉

大妻嵐山中学 高校 校長



榎本克哉（えのもとかつや）
 鴻巣市出身。松山高校→早稲田大卒。日本旅行に勤務後、川口女子高世界史教諭。熊谷高、川越高と別学を数多く経験する。病弱特別支援学校校長、南陵高校校長、松山女子高校長を経て2018年から大妻嵐山中高教頭。23年4月より同校長。

大正、昭和期に日本の女子教育に尽くした大妻コタカ（1884—1970年）。大妻学院（大妻中高・大妻多摩中高・大妻中野中高・大妻嵐山中高・大妻女子大）は学祖・コタカの教えを普遍的な価値観として伝えます。理科教育とグローバル教育に色濃い大妻嵐山中高は、令和の今をどう見据えるのでしょうか。4月からの新任で、別学の教育経験が豊富な榎本克哉校長（64）に聞きました。

地域に根差し
社会へ発信

—学校全体で、課外活動に力を入れていますね。地元の小学生に向けて先生と生徒が英会話や理科実験のワークショップを開いたり、コーラス部がお年寄りのために地域の施設で歌ったりとか。

大妻の学び舎に集まる子どもたちには将来、社会貢献ができる自立した女性となってほしいです。多感な時期に、自然あふれる武蔵嵐山の地で、のびのび自分らしく心を育ててほしい。生徒の発表の場は、もっと活発になっていきます。



サイエンス部で活躍する岸優夏さん＝高3（提供）

地域に根ざすことは、これからの私学においてとても大切なことだと強く感じています。私がかつて勤務した別学の伝統校は地域との結びつきがとても強い。こうした伝統校と肩を並べていくために、学校が持つ各種教育資源を地域に還元し、新たな社会的価値を生み出す学校に成長していきたい。

—先生が学外で活躍するイメージですか？

今年3月には、鈴木崇広先生が理科の教育実践を表す東レ理科教育賞で最高の「文部科学大臣賞」を受けました。鈴木先生が教育実践した「アルミ箔と界面活性剤を用いた美しい銅板の黄銅めっき法」は、プロが評価するすごい研究だったそうです。教え子の岸優夏さん（高校3年）はこの研究で一昨年の日本学生科学賞（中高生対象では国内最高峰の科学賞）の全国2位に。上位大会の国際学生科学技術フェアでは英語で研究発表しました。サイエンス部は毎年のように活躍しています。

身近な自然で始まる理科
ネイティブが促す英語

—大妻学院の学祖大妻コタカはもともと理科数学を志した人とも聞きます。大妻嵐山高は開校56年、中学は20年目です。理科とグローバル教育の歩みは？

中学開校時、校長の小林節先生が掲げた「環境教育」と「科学する心」が始まりです。女子の理系大学への進学希望が増加するより前の話です。嵐山町は国蝶オオムラサキの生息地として知られ、1年生全員が取り組むオオムラサキの飼育・観察・発表は中学開校とともに始まりました。生徒は身近な自然事象への興味関心を出発点にすることで、高校で学ぶ「物理」「化学」「生物」「地学」などの必要性を理解していく。中学3年ではグループ毎にそれぞれのテーマで集大成となる科学論文をポスター発表します。サイエンスに興味を深めた生徒は、高校のサイエンス部で活躍してほしいです。

小林先生の「女子の理科教育」は大きな評判と共感を呼び、都内からも多くの生徒が集まりました。その後、次の篠原善廣校長の代で、サイエンスに加えて英語教育（とくに会話能力）が打ち出されていきました。現在

中学では、ネイティブの講師たちの指導を受けています。「自己表現ツール」としての英語を楽しんで学ぶEnglish Camp、福島県プリティッシュビルズでの英語合宿を経て、歌ありダンスありの英語劇（English Festival）で集大成を披露します。中学の内に発話を多く経験し、英語に慣れてもらう。外国人相手に気後れしないようになります。高校1年になると、グローバル探究の一環である英語による研究発表会に向けた準備にかかります。夏の外国人留学生とのディスカッション（グローバルキャンプ）を通じて、各グループは研究テーマを練り、深掘りしていく。3月の研究発表はプレゼン大会です。昨年度は「臉と整形」（なぜ日本の若者は二重を好む）、「快適な空の旅」（環境変化と味覚変化）、「信仰の価値観」の三つのテーマで争われ、探究レベルの高さと英語力に驚かされました。今年度からは、高2の修学旅行でフィールドワークと現地大学生との交流を行う予定です。グローバルマインドを育む上で、集大成となる交流機会となってほしいです。

学祖・大妻コタカの教え
今こそ

—新たな取り組みで、大きな変化は？

次年度の中学入試から「まなび力入試」と「まなび力エキスパート入試」を一本化します。前者は基礎学力重視型で、後者は小学生時代に取り組んできたモノやコトをエントリーシートで見る入試。今年度はダンスの全国大会出場や英検などの各種資格で色んな実績がありました。また新たな入試として、「適性検査型入試」を導入します。文章を読み取って自分の考えをまとめたり、表やグラフから問題点を読み取り、論理的に表現する力などを測る入試です。いずれも通常の学力テストでは測りきれない協調性、学習意欲、やり抜く力や思考力・判断力・表現力といった「非認知的能力」を重視していくものです。—なぜですか？

大妻嵐山ならではの学祖大妻コタカ先生が生涯をかけて目指した、女性の自立のための教えです。これらは時代を超えた価値観でもあり、非認知的能力ともいえる「人間力」に言い換えられるものです。それを「コタカ学」として、大妻嵐山では生徒に伝え続けています。ベースにあるのは、謙虚さ、相手を敬うことの大切さ、品格、自ら学ぶことの姿勢。そのうえで、子どもたちには自ら表現し、発信できる力を養ってほしいのです。

本校の校訓はコタカ先生の教えにある

「恥を知れ」。自分自身と向き合うための言葉です。正しい心をもって学びに向かい、「恥じるような行いをしていないか」と自らに問い続けること。他者へのリスペクトと感謝の気持ちは品格に表れます。本校が育てたいのは「心美人」。そしてそれは学校の規律の中で育まれるとも思っています。中高6年間で、研究、英会話、部活とハードワークしながら身につけていってほしい。

敬うから頑張れる
「男も女も関係ない」

—「規律」に「ハードワーク」。私立の女子校にあって、力強いです。

学生時代ラグビーに取り組み、ラグビー部顧問だった私自身の経験からですが、フィジカルで劣る者が大きな相手に対抗していくことは、個々がどれだけハードワークできるかにかかっています。そこに男女差はないと考えます。私自身がラグビーを通じて大事にしたことは、とにかく倒されても素早く起き上がり、人数をかけて次のプレーに動くこと。これを全員が徹底するこ

とでした。そのためには自らを厳しく律していかなければなりません。この力は県内の強豪進学校にも伝統的にみられる力です。ハードワークは2015年のラグビーワールドカップ（W杯）で日本代表を率いて南アフリカ代表を倒し「ブライトンの奇跡」を演出したエディジョーンズ監督が日本代表にもたらしたマインドでもあります。そしてそのベースには相手を敬う心がある。先のWBC（ワールドベースボールクラシック）で決勝のアメリカ戦の前、大谷翔平選手がチームにかけた言葉が印象的でした。「今日は憧れるのをやめましょう。憧れてしまったら超えられない」と。厳しい鍛錬を重ねる選手たちが、ふだんどれだけメジャーリーガーを尊敬しているかが伝わりました。頑張る力は人を敬う心、礼法を大事にする集団の中でこそ磨かれると思うのです。

—別学と共学、両方の教育経験から言えることは？

今本校では、社会貢献活動の一環として、受験を控える保護者や受験生たちに向けたセミナー（受験生応援プロジェクト）を実施しています。受験のお役立ち情報や、別学・共学・公立・私立それぞれのメリット・デメリットなどを伝えるセミナーです。聴講者の中で誤解されがちだったのは、別学はジェンダー解放の時代に合わないのでは？ということ。「まったく逆です」と伝えています。ある共学高の学園祭の後片付けの時でした。女子生徒に荷物運びを頼んだ際に言われたのが「男子にやらせませう」だった。「私たちは軽作業をします」と。自然と男女の役割が固定観念になっているなど感じました。ジェンダー格差の問題で別学の存在意義は揺らぎません。女子校は、自分たちでなんだってやるんですから。

（聞き手と構成：橋上賢太）

写真のお求めはASA公式サイト「いい朝ドットコム」へ

掲載写真はASA公式サイト「いい朝ドットコム」から購入できます。また掲載外の写真は右のQRよりご覧いただけます。パスワード（jp202304）を入力ください。



いい朝ドットコム

広告のご用命はTEL 048-780-2471

制作発行 朝日サポートセンター埼玉

定価：200円（税込）朝日新聞販売店で購入できます。

弊紙についてのお問い合わせ・ご感想は編集局まで。
 編集人：橋上賢太 編集局：朝日スポーツネット
 〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町3-91-102
 TEL 048-788-3277 FAX 048-788-3273
 E-mail: saitama@asahi-asn.co.jp

全体の70%を英語で学ぶイマージョン教育・小中高12年一貫教育 IB認定校

学校法人 太田国際学園
ぐんま国際アカデミー
 【初等部】群馬県太田市西本町69-1 Tel.0276-33-7711
 初等部 中等部 高等部
 IB World School

世界15か国から集まるネイティブ教師と海外経験豊かな日本人教職員による指導



首都圏在住者向け学校説明会

5/13 ± 会場／GINZA SIX 11階
 OPENHOUSE GINZA SALON
 時間／午前10時より

授業公開／学校説明会

6/17 ± 会場／ぐんま国際アカデミー
 初等部にて
 9/2 ± 時間／午前9時より
 保護者のみ



詳細・参加登録はHPからお申込みください。



email info@gka.ed.jp

website www.gka.ed.jp